

秋田市立旭川小学校 5年生に森林教室を実施

令和6年6月12日、秋田市太平山自然学習センター「まんたらめ」において、秋田市立旭川小学校5年生児童85名を対象に「総合的な学習の時間」の一環として、森林教室を開催しました。当日は、「森と木の学習」、「種飛ばし実験」、「丸太切り体験」の3つのメニューを体験してもらいました。

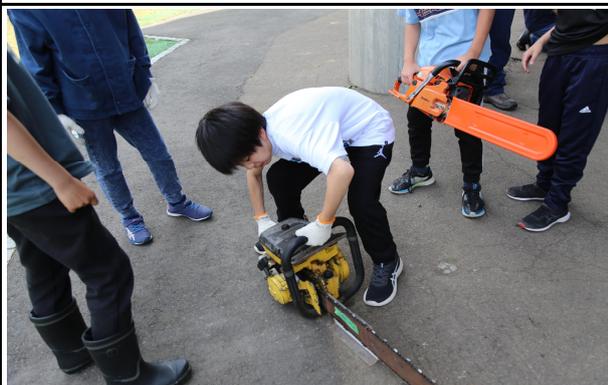
「森と木の学習」では、水を貯え、災害を防ぎ、地球温暖化の防止にも貢献している森林の役割について学び、樹木に関するクイズも行われました。「種飛ばし実験」では、樹木が種子を拡げる方法や、様々な種子の形や大きさについて学び、実際にニワウルシやラワンの種子の模型を作り、その拡がりを実験しました。「丸太切り体験」では、ノコギリやチェーンソーの進化、現代の林業機械について学び、実際にノコギリを使っての丸太切りのを体験しました。お土産として、切り出した木片にヤスリ掛けし、「まんたらめ」の焼き印をし、世界に1枚だけのコースターを作りました。



森林教室の始まりです！



丸太切に全集中



古いチェーンソーは重い(°Д°)



種が遠くに拡がる不思議を勉強中